

令和2年度自己評価及び関係者評価結果

社会福祉法人るり福祉会
るり保育園
理事長 長谷川弘道

1 園の教育目標

「健やかに・伸びやかに・大らかに」の教育方針の基、恵まれた自然環境を教育内容に生かしながら、子どもの成長を見守る。

2 本年度の重点目標

子ども達が小学校へ円滑に就学できるように、園の教育目標及び教育方針を達成するために改善を図る。また、幼児期における意思・感性・感情などの個人形成を育てることを重点とする。そして、父兄及び地域との連携及び交流をはかる。

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況	自己評価	関係者評価
保育の計画性	新型コロナ禍の中、園行事において例年通り開催出来ないが、各計画案について協議し意見を出し合い、共通の目標を目指した。	B	A
保育のあり方・幼児への対応	保育者のマスク着用により、意思疎通が難しい中、子ども一人一人と確実な信頼関係を築くため、より一層園児をよく観察し、その子にあった援助を見つけ実践するようにしてきた。また、専門施設等と連携し、各々に合った取り組みをした。	A	A
保護者への対応	感染予防対策として、園行事等において、自粛を避けられない中で、保護者向けに情報発信を出来る限り努めた。	B	B
地域の自然や地域との関わり	地元町内会婦人部や地元有志の協力の元、隣接した畑において、作物栽培をし、食育に繋げた。また、子ども達に実体験から収穫の喜びを経験させた。	A	A
研修と研究	感染予防の為、積極的なキャリアアップ研修等への参加が出来なかったが、感染状況に応じて、資質向上に努めた。	A	B

4 次年度への取り組むべき課題

課題	具体的な取組み方法
感染症対策(新型コロナ等)	引き続き感染対策を継続し、園運営に努める
保育の質の向上への改善	食育などを通して保育の質の向上に向け、進めていく。
保護者への対応	感染対策を強化しながら、保護者に協力していただき、連携強化。
地域との関わり	地域の高齢者との交流などを積極的に行いたい。

※例年通り、地震対策及び土砂災害対策への訓練実施、また防犯対策の実施

5 財務状況

幼保支援課及び監事による監査により、園が適正に運営されていると認められている。

6 関係者評価

関係者による園評価が行われ、実施方法や評価結果について適正と判断をいただいている。